

FIC取り扱い説明書 ジムニーJB23W車専用

IMPS F.I.C.

FUEL INJECTION CONTROL

この度は弊社製品<FIC>をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。本製品はフューエルインジェクターの噴射時期を変更させ、エンジントルク、レスポンスを向上させるコントローラーです。本製品を安全にご使用いただく為に、装着ならびご使用の前に必ず本説明書を読んで、内容を十分に理解のうえ取り付け作業をおこなって下さい。



警告 死傷につながる恐れがある事故を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

- 運転者は、走行中に本製品を操作しないで下さい。運転操作の妨げになり、事故の原因となってしまいます。
- 本体は運転の妨げにならない場所へ固定して下さい。



注意 負傷または、車両や商品の損傷を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

- 取り付け作業はエンジンを停止させ、専用設備をもった安全な場所でおこなって下さい。必ず専門の業者に依頼して下さい。
- 本製品およびハーネスを高温部もしくは水のかかる場所に設置することは絶対にさけて下さい。また製品を落としたり、衝撃を与えたりすると故障の原因になります。
- 製品を分解もしくは改造して使用した場合、当社では一切責任を負うことが出来ません。

注意！ * 本体の分解、改造は大変危険です絶対にしないで下さい。そのような状態がある場合は一切のクレームはききません。ご了承下さい。

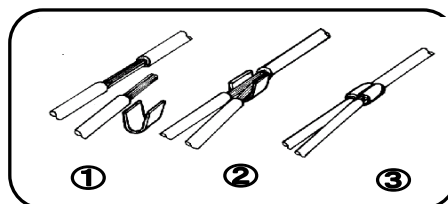
【取り付け方法】 適合表を参考に車両の詳細を確認してから作業をおこなって下さい。

配線図とECU端子図を参考にFICをECUへ配線して下さい。

- ◎配線終了後エンジンを始動させ『カラ吹き』にてエンジンが正常に吹けあがるのを確認して下さい。
- ◎本体は必ず室内に取り付けて下さい。
- ◎ハーネス類を運転の障害にならぬようにまとめて本体を固定して下さい。

【スプライスの使用方法】

- ① ECUの配線の適当な場所の被服を剥きます。(約5mm)
- ② DCの配線の先を10mm程度被服を剥き、ECUへ巻きつけます。
- ③ 圧着ペンチにて接合部をかします。
- ④ ビニールテープにて接合部を絶縁します。



【調整方法】

* 取り付け終了後、本体横のディップスイッチが下記の状態になっているかを確認して下さい。



- ★<1>は特性切り替えになります。
- ★ディップスイッチは下に降ろすとONになります。
- ★<2、3>はON、<4>はOFFにして下さい。
- * <1>がOFFの時→モード1(赤色LEDのみ点灯)
- * <1>がONの時→モード2(緑色LEDと赤色LED点灯)

* 本体横のディップスイッチ<1>の切り替えにより、車両の特性にあった設定を決定して下さい。

モード1

高速モード ディップスイッチ<1>をOFF * 赤色LEDのみ点灯

* 高速走行、サーキット走行に適した設定です。一部車両はアイドリング付近が多少ラフになることがあります。

モード2

低中速モード ディップスイッチ<1>をON * 緑色LED、赤色LED点灯 * 通常走行に適した設定です。

注意！

* 走行中にスイッチ 2・3・4 を絶対に操作 (ON/OFF) させないで下さい、FIC及び車両が破損します。

* スイッチ1を切り替える時、多少のショックがありますが、異常ではありません。

頻繁に切り換えるとFIC及び、車両ECUに悪影響を及ぼす可能性がありますので避けて下さい。

* ディップスイッチの設定を間違えると車両のフューズ切れ、FIC本体の故障をまねきます、

慎重に設定してください。

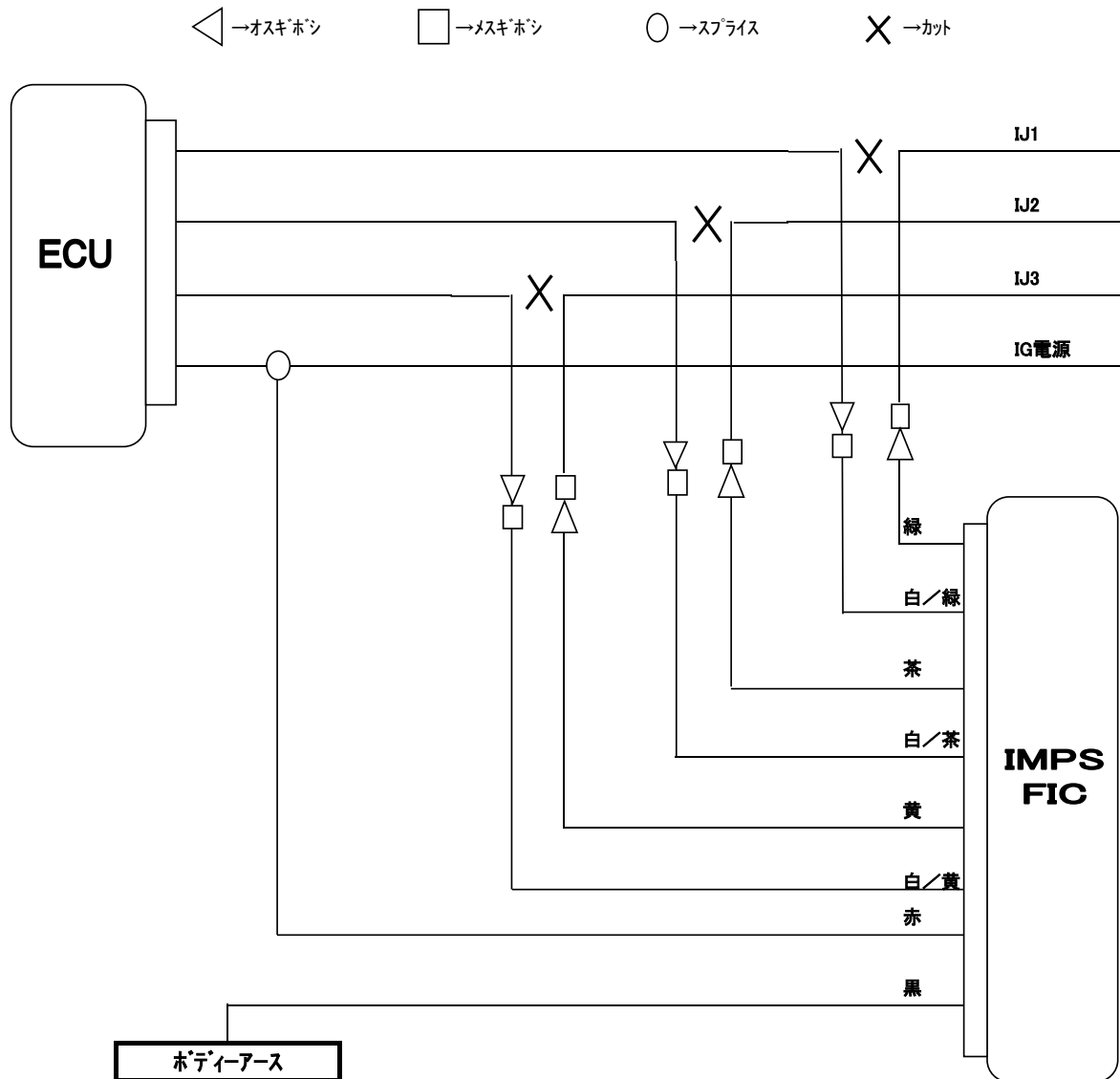
* FIC装着後、アイドリング～低負荷域の吸入流速の遅い時に燃料値がやや薄くなる場合があります。

その部分の燃料値をサブコン、フルコン等にて薄くしてある場合は再調整して下さい。

配線図

車両端子図を参考にFIGより出ている8本をECUへ配線して下さい。

注意！ 燃料噴射に関わる部分です。接続位置、接触には最善の注意をはらって作業をおこなして下さい。



- ①車両ECUのIG電源線へFIGの赤色線をスプライスにより接続します。
* もしくはイグニッションキーONにて12Vかかる線へ接続して下さい。
- ②FIGの黒色線をボディーアースして下さい。
- ③車両ECUのIJ1の線をカットしてECU側へFIGの白/緑色線、車両側へFIGの緑色線をオス・メスギボシにより接続します。
- ④車両ECUのIJ2の線をカットしてECU側へFIGの白/茶色線、車両側へFIGの茶色線をオス・メスギボシにより接続します。
- ⑤車両ECUのIJ3の線をカットしてECU側へFIGの白/黄色線、車両側へFIGの黄色線をオス・メスギボシにより接続します。
- ⑥運転の操作の妨げにならぬよう、配線をまとめて下さい。

K6A車 端子図

